

品目別作業の標準化によるマニュアルの作成

地域の農業普及指導センター、JAとともに、品目別作業の標準化とマニュアルの作成に取り組んでいます。

1 わかりやすいマニュアルを作成

作業手順を視覚化し、作業の支援となるような
わかりやすいマニュアルを作成

「作業手順の明確化と標準化」が目的
マニュアルを作成することによって…

「（ある作業を）誰でも出来るようにする」
「（ある作業が）できる人が増える」

障がい者や支援施設、施設職員だけでなく、高齢者、新規
就農者、農業従事者に対しても有効なノウハウとなる

2 マニュアル作成の流れ

1. 品目別に一連の作業の洗い出し

2. 抽出した作業を細かく分解
（工程の細分化）

3. 細分化した作業についての手順書を作成

- 手順書は、作業の具体的な進め方が記載されたもの
- ひとつひとつの作業に焦点を当て、流れや手順を詳細に明記
- 細かく具体的な情報を書く
- 重要ルールを示す「これだけはやってください」
「これだけはやらないでください」など
- 絵、図、写真、票（見えるか）を効果的に取り入れ、伝えるべ
きことが一見して理解できるように工夫

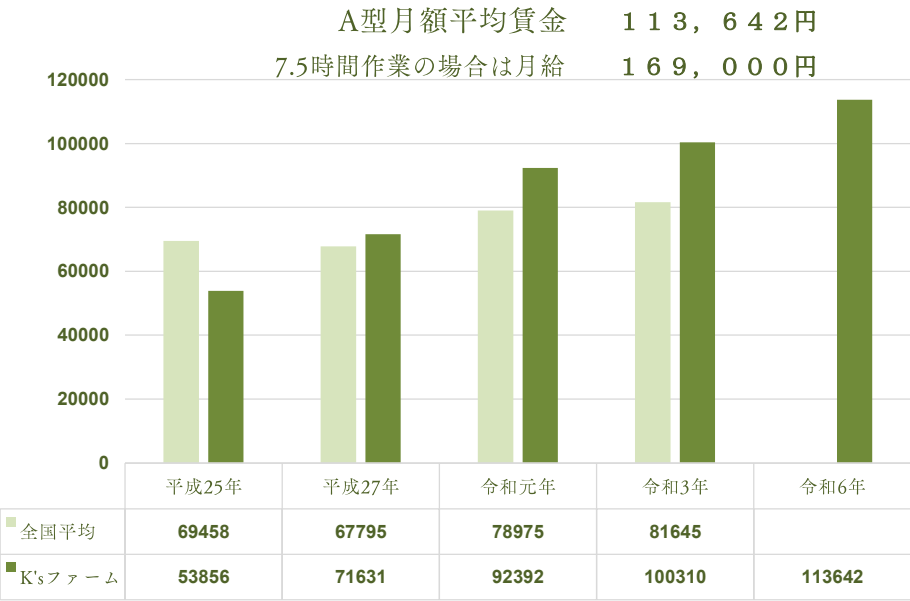
4. 作業時間を計測し、工賃目安を算出

賃金・工賃実績

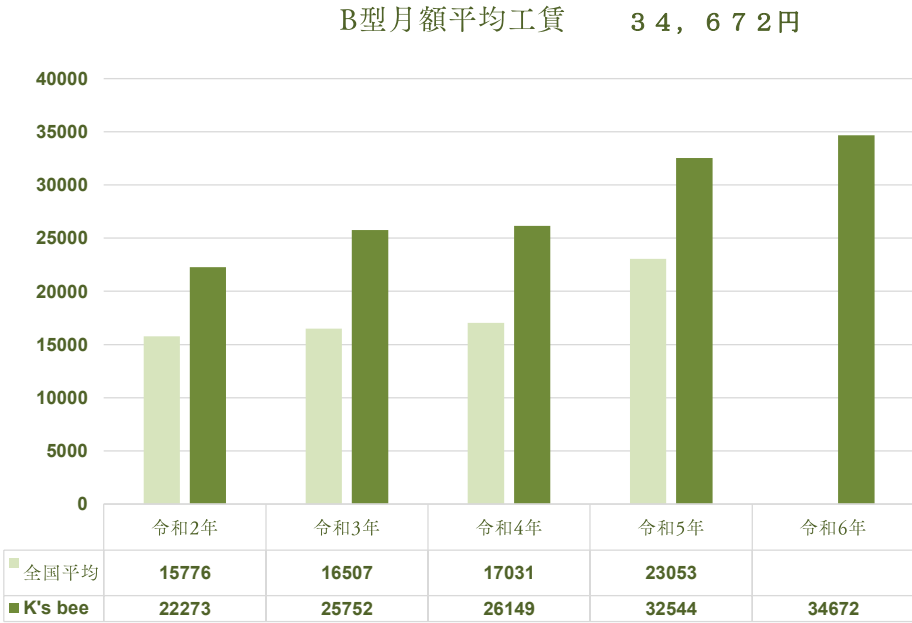
障がいのある方の自立支援に向け A型・B型における(生産活動)の充実やそれに伴う
工賃（賃金）の向上は最も重要な課題です。



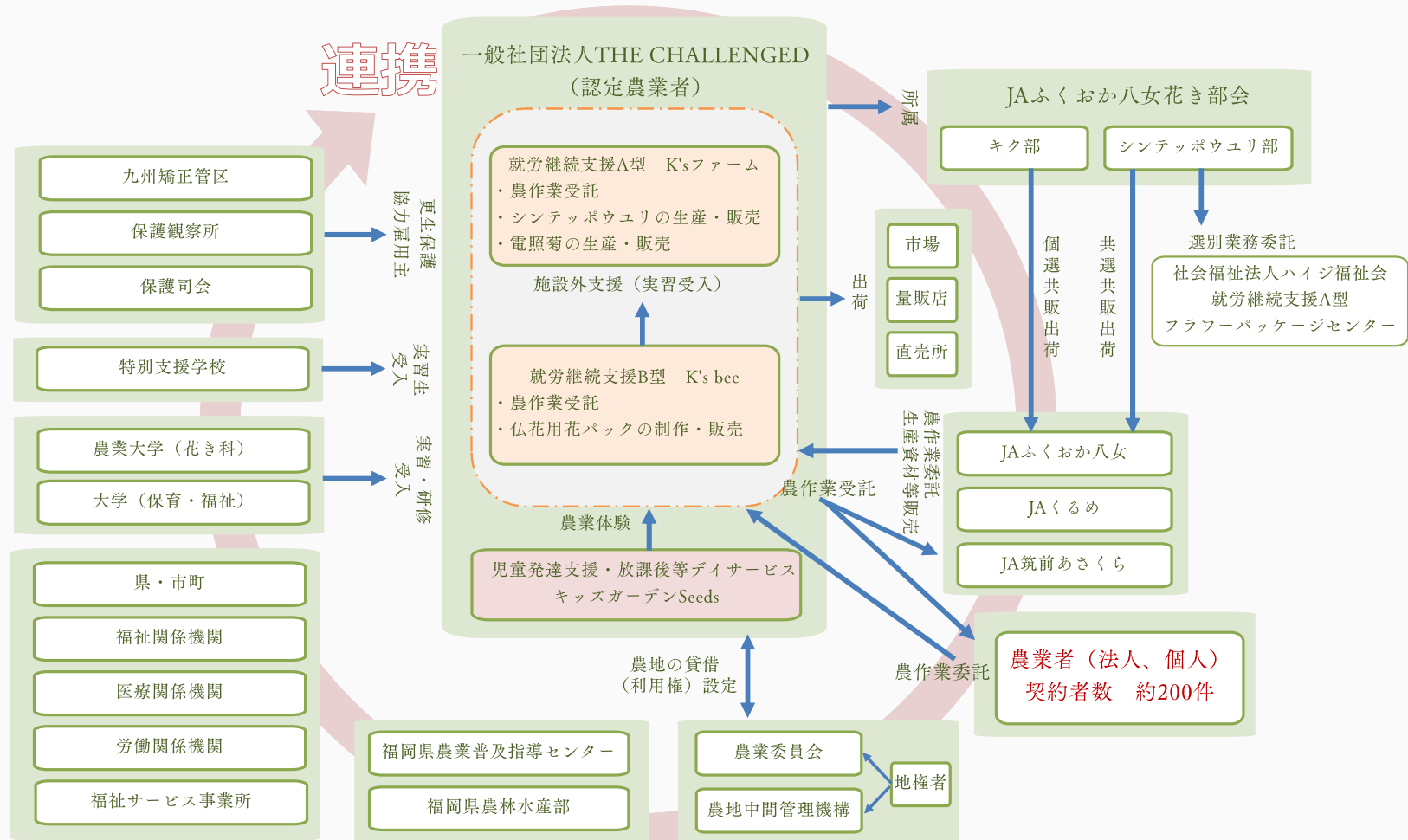
多種多様な受託作業及び付加価値の高い
花きの生産に取り組むことで収益アップ



多種多様な受託作業及び仏花用花パックの
製作・販売に取り組むことで収益アップ



農福連携体制図



農福連携が目指すのは・・・

共生によるWin-Winの関係

農福連携は農業、福祉のあり方、社会のあり方を変える力がある

- 農業が障がい者等の就労の場となることで農業課題も改善でき、地域全体の盛り上がりにつながる
- 障がい者等にとって、地域を支える農業へ取り組むことで、社会参加意識を高めることも可能になる



福祉には障がいのある方だけでなく、社会的、経済的、その他の様々な事由によって生きにくさを感じている人もいます。

農福連携で、

高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある人などの就労や社会参画支援、そして犯罪・非行をした人の立ち直り支援にまで対象を広げる取り組みができれば…

「誰もが自分らしい生き方を実現し、社会参加ができる」

そんな社会をつくるために…

ひとりでは困難なことも、協力し合えばできるはず

力を合わせてよりよい社会を創っていきましょう。

これからも・・・

準グランプリ
「地域を耕す」

2023

ノウフク
アワード

NOUFUKU AWARD
2023

一般社団法人 THE CHALLENGED

(福岡県久留米市)



触法者を含む34名の障がい者を雇用し、認定農業者として花き生産に取り組むとともに、
170を超える農業経営体から多種多様な作業を受託し、
地域農業を支える存在となっています。

概要

- 福岡県内最大の花き生産者として、電照架や博多シンテッポウユリなどを生産するとともに、地域農家から農作業を受託しています。
- 花き生産や多種多様な受託作業により、利用者の適性と能力に合わせた働き方を設定しています。
- 作業内容、態度、能力、経験等を考慮した評価基準に基づく昇給制度を採用しています。
- 夏期には、サマータイムの導入や休憩時間を定期的に設けているほか、全員に空調服を貸与するなど、徹底的な熱中症対策を実施しています。
- 農業改良普及センターと連携し、品目別作業の標準化とマニュアルの作成に取り組み、地域の福祉施設や若手新規就農者にとって有効なノウハウを提供しています。

成果

人を耕す

客観的な評価基準による昇給制度を採用することで、利用者の責任感や、やりがいの維持につながっており、就労継続支援A型事業所の平均賃金月額は2012年の56,000円から2022年には100,000円と増加しています。また、就労支援により精神力、体力、社会性を身につけ、2022年度までに10名以上が一般就労へ移行しています。

地域を耕す

福岡県内の最大の花き生産者として、2018年には認定農業者に認定されています。また、地域における障がい者への理解が深まることで、170を超える農業経営体から農作業を受託しています。

未来を耕す

他の施設からの視察の受け入れや助言等を行うことで、地域に農場連携の取組が広がっているほか、契約農家から障がい者を直接雇用したいとの相談を受けるなど、取組の幅が拡大しています。

ノウフクアワード2023

準グランプリ「地域を耕す」受賞

一つひとつ積み重ねてきたことが力となって、
私たちの存在は地域でますます大きくなっています。

今後も農業を通じて、様々な方が働き続けることのできる
居場所を作っていきたい…

THE CHALLENGDは、これからも

福祉と農業の連携を図り、

誰もが誇りとやりがいの持てる職場として

農業に従事できる環境と機会を創造していきます。

ご清聴ありがとうございました。

